

○ 住民説明会における意見等（畔戸地区）

1. 日 時 令和元年6月15日（土）16時から17時30分まで
2. 場 所 中央公民館畔戸分館
3. 出席者 防衛省整備計画局、北関東防衛局ほか
木更津市企画部
4. 参加者 24名
5. 防衛省から説明資料に沿って説明後、以下のとおり質疑応答。

※【○主な質問等】【●防衛省の説明】【※木更津市の説明】

1. 木更津駐屯地への暫定配備期間について

- 現在、佐賀空港の施設整備をするに当たり、その用地買収も済んでいない中で、木更津駐屯地への配備はあくまで暫定的であるという根拠は。また、暫定配備期間はどの程度を考えているのか。期間が示されなければ、木更津市民は判断のしようがない。
- 陸自オスプレイについては、昨年8月、佐賀県知事から受入れ表明を頂き、現在、佐賀県と有明海漁協において、佐賀空港建設時に締結された公害防止協定で確認されている、『県は佐賀空港を自衛隊と共用するような考えをもっていない』旨の考え方の取扱いについて協議がなされているところである。当該協議の進捗に応じて、施設整備に係る測量や基本検討等を行うことができれば、工期がおおむね判明すると思われるが、現時点で暫定配備期間をお示しすることは困難である。なお、佐賀空港が恒久配備先である考えに一切の変わりはなく、可能な限り早い段階で、佐賀空港にオスプレイを配備できるように努める。期間の目途が判明したら、改めて報告させていただく。
- これから施設整備を行う佐賀空港より、既に整備がされている木更津駐屯地へ恒久配備した方がいいと考えるのではないか。仮に、木更津駐屯地へ暫定配備した後、佐賀県での調整が破綻すれば、オスプレイを木更津駐屯地で受け入れざるを得ないだろう。その可能性も含めて説明するべきではないか。
- 御指摘は真摯に受け止める。防衛省としては、全てが決定したから説明に来たのではなく、今、伝えられることを説明に来た、ということで、説明会を開かせていただいたものである。いずれにしても、佐賀空港が恒久配備先である考えに一切の変わりはない。

2. 生活環境への影響について

【騒音】

- 地域へのメリットはどのように考えているのか。また、騒音はどうか。畔戸地区は、同じ地区で、防音工事の助成対象区域と対象外区域が存在し、不公平感を持っている。

- オスプレイは、防衛の観点から日本全体にとってのメリットになるが、地元にとっては負担をおかけすることは事実。仮にオスプレイが暫定配備された後、騒音等の影響があった場合、木更津市とも相談しながら、適切に対応する。また、木更津市内の同じ地区においても、防音工事の助成対象地域と対象外地域が存在している。これは、騒音の状況によって分けられたもの。仮にオスプレイが暫定配備された後、騒音等を見て、木更津市とも相談の上、適切に対応していく。御意見は承る。
- 現状においても騒音で困っている人がいることから、それらに対処してから、新たにオスプレイの話を持ってくるのが筋ではないか。
- 騒音の件、御意見として承る。
- 防衛省の説明では、オスプレイはＣＨ－４７と同程度の騒音であるとのことだが、米海兵隊ＭＶ－２２オスプレイの定期機体整備に係る試験飛行の際、小櫃川上空を飛行していた時の騒音は相当であったが、防衛省の説明は間違っているのではないか。
- 資料に掲載している騒音値は、防衛省が日米共通整備基盤の受入れを木更津市に対して要請していた２０１６年に、木更津駐屯地において、米海兵隊ＭＶ－２２オスプレイと陸上自衛隊ＣＨ－４７をそれぞれ飛行させた際に測定したものであり、北関東防衛局の職員が実施した。気象状況により、騒音レベルは変動するが、いずれにせよ、ＣＨ－４７と同程度の騒音であると示したものである。

【訓練内容】

- 夜間飛行訓練は何時まで実施するのか。
- いまだオスプレイは配備されていないことから、具体的な訓練計画は立っていないが、仮にオスプレイが暫定配備された後、夜間飛行訓練の実施が必要となった場合は、地域への影響を最小限にして対応していく。

3. その他

- オスプレイが暫定配備となれば、木更津市への交付金額は増えるのか。
- 交付金は毎年の予算で決まることだが、負担に変更がない場合は別だが、一般論として申し上げれば、負担が増えれば金額も増えていく。
- 説明資料には良いことしか書いていないが、デメリットについても記載すべきではないか。そうでないと判断するのは難しい。また、今年度末に暫定配備したいとの説明だが、市が判断するのにどれくらいの猶予があるのか。
- 我々が現在伝えられることを説明させていただいている。御指摘は真摯に受け止め、今後とも丁寧に説明させていただく。
- ※ 今回の要請に対する回答は、いつまで、という期限は考えていない。また、

防衛省からも木更津市の理解を得られないうちには、暫定配備をしないと聞いているので、市民の皆様の意見を聞きながら、また、行政側も疑問点を確認しながら慎重に判断してまいりたい。

【木更津市への質問・意見】

- 木更津市も誠意をもって対応する必要がある。
- ※ 今日頂いた御意見や御質問については、防衛省からの説明で不十分と感じている部分については、市が防衛省へ詳細な説明を求めていき、それについて、皆様に回覧等でその結果をお伝えできるよう、区長と相談していきたい。今後、新たな意見や懸念事項が出たら伺い、それについても防衛省に説明を求めていき、それも皆様へ文書で回答する予定である。御理解いただきたい。

- 防衛省の説明は至らないところ多いが、市は、このような状態でなぜ説明会の開催を了承したのか。
- オスプレイは防衛省の事業であり、皆様に負担をかけていることは承知している。御指摘は受け止め、今後も丁寧に説明させていただく考えに変わりはない。

- 基本的に、国防のことを否定することは難しいのだろうと考えている。佐賀県には１００億円が支払われるとの情報もある。批判ばかりではなく、建設的な意見を述べていただき、議論していくことが望ましいのではないか。
- １００億円の話がでたが、佐賀県が管理する空港への着陸料として、佐賀県佐賀空港条例の規定を踏まえ、１００億円を２０年間に分けて支払うものである。佐賀県がその着陸料をどのように使用するのか、それは佐賀県の判断になるのだが、防衛省と佐賀県知事の合意の中では、有明海漁業の振興を行うための振興基金と、環境への影響や事故等による補償等の対象となる事案が発生した場合、国による補償等が行われるまでの間、一時的に必要な費用を貸し付けるための補償基金を創設することとされている。他方、木更津駐屯地は防衛施設であることから着陸料は発生しないが、仮にオスプレイが暫定配備された後、騒音等の影響が確認された場合は、木更津市とも相談の上、適切に対応していく。

- この場で出た意見等は、公表する予定はあるか。
- ※ 公表する予定である。